



平成26年度

まちの決算と仕事



目次 contents

- 2……一般会計の決算状況
- 4……まちの主な仕事
- 8……特別会計と水道事業
会計の決算状況

特別会計・水道事業会計の決算状況

●特別会計

特定の事業を行うために、一般会計とは別に計上される会計を特別会計といいます。平成26年度は、4会計とも黒字決算となりました。

会計	収入済額	支出済額	内容
国民健康保険特別会計	39億9,614万円	38億9,262万円	医療費の支給、特定健康診査など。
下水道事業特別会計	8億9,255万円	8億7,082万円	公共下水道の整備など。
介護保険特別会計	21億2,099万円	20億9,051万円	介護サービス給付費など。
後期高齢者医療特別会計	2億6,848万円	2億6,586万円	後期高齢者医療広域連合への納付金など。

●水道事業会計

水道事業会計は、一般会計とは異なり企業会計の方式によって経営しています。安全でおいしい水道水を安定供給するために、水道施設の維持管理等を行っています。

区分	収入決算額	支出決算額	内容
収益的収支	11億7,795万円	10億8,751万円	収入のほとんどは水道料金。支出は受水費や固定資産の減価償却費など。
資本的収支	5,335万円	1億 449万円	支出は施設整備と企業債償還などの資産取得など。

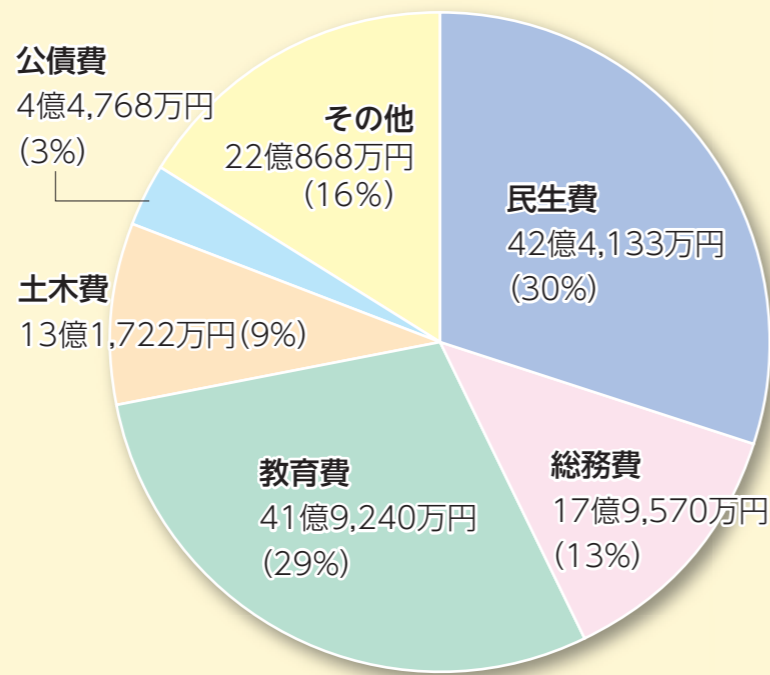
歳出は、民生費と教育費がそれぞれ全体の約30%を占め、民生費では子ども手当の支給、町立保育所の管理運営や認可保育所への運営補助、明石台小学校放課後児童クラブ新設事業、消費税率引き上げによる影響の緩和を目的とした臨時福祉給付金支給事業と子育て世帯臨時特例給付金支給事業、障害者福祉事業や子ども医療費助成などを行いました。

また、教育費では、明石台小学校新設事業やスポーツ交流館新築事業を、土木費では町道高屋敷線道路拡幅事業のほか、町道の改良および維持補修を行いました。

用語解説

- 民生費**
児童・高齢者・障害者福祉、医療費など福祉全般の経費です。
- 教育費**
小中学校・幼稚園の管理、生涯学習やスポーツ事業などの経費です。
- 総務費**
防犯、交通安全、町民バスの運行などの経費です。
- 土木費**
道路の管理や改良、町営住宅、公園管理などの経費です。
- 公債費**
町が借りたお金やその利子を返還するための経費です。
- その他**
衛生費、消防費、議会費、災害復旧費などの経費です。

一般会計 歳出 142億301万円



町民1人あたりに換算すると…

	平成26年度	平成25年度
27万3,239円		24万373円
民生費	8万1,595円	7万1,440円
教育費	8万0,654円	5万 451円
総務費	3万4,546円	3万6,759円
土木費	2万5,341円	2万9,161円
公債費	8,613円	8,369円
その他	4万2,490円	4万4,193円

※H27.3.31末現在の住民基本台帳人口51,980人で算出しています。

※H26.3.31末現在の住民基本台帳人口51,313人で算出しています。

一般会計決算の状況

歳入	151億6,847万円
歳出	142億 301万円
翌年度に繰り越した事業に必要な財源	3億4,095万円
実質収支	6億2,451万円

平成26年度の一般会計の決算は、歳入151億6,847万円、歳出が142億301万円となり、前年度より歳入で14.9%、歳出で15.1%の増額となりました。

また、歳入と歳出の差引額から、平成27年度に繰り越した事業に必要な財源3億4,095万円を除いた実質的な収支は、6億2,451万円の黒字となっています。この黒字分は、平成27年度の事業に充てるほか、平成27年度以降に町のお金が不足する場合の貯金として、基金に積み立てました。

■自主財源

79億4,602万円(52%)

町税や使用料など、町が国に頼らず、自主的に調達できるお金のことです。この自主財源が多いと町の予算にゆとりが生じるため、歳入に占める割合ができるだけ高いことが望ましいとされています。

■依存財源

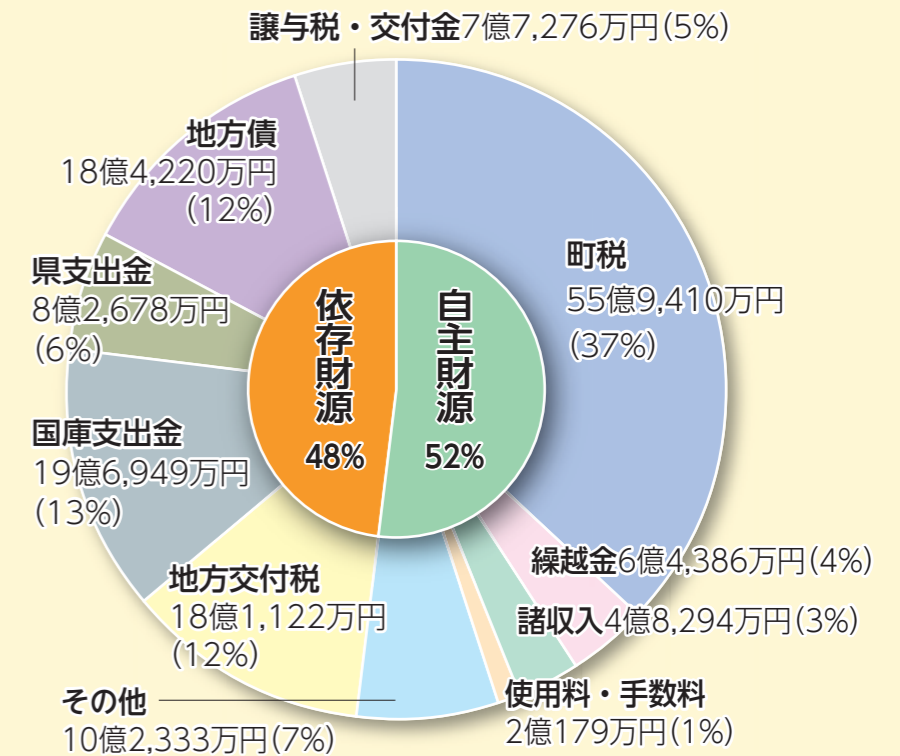
72億2,245万円(48%)

地方交付税や国・県支出金など、国・県の意思により交付されるお金のことです。また、町債も依存財源に該当します。

用語解説

- 町税**
皆さんが町に納めた税金（町民税、固定資産税、軽自動車税など）です。
- 繰越金**
平成25年度から平成26年度歳入へ持ち越された決算剰余金です。
- 地方交付税**
全国どこでも同じサービスが受けられるよう、国から配分されるお金です。
- 国・県支出金**
国や県が使いまちを決めて交付するお金です。

一般会計 歳入 151億6,847万円



町民1人あたりに換算すると…

	平成26年度	平成25年度
29万1,814円		25万7,210円
町税	10万7,621円	10万7,602円
国・県支出金	5万3,795円	4万5,596円
地方交付税	3万4,845円	3万6,085円
地方債	3万5,440円	1万2,839円
その他	6万 113円	5万5,088円

※H27.3.31末現在の住民基本台帳人口51,980人で算出しています。

※H26.3.31末現在の住民基本台帳人口51,313人で算出しています。

平成26年度決算が、平成27年第3回富谷町議会定例会で認定されました。
皆さんに納めていただいた税金などがどのように使われ、まちづくりがどのように進められているか、お知らせします。
町財政課 財務担当 (☎358-0619)

富谷町決算報告

平成26年度

福祉部 健康増進課

住民検診事業……………1億3,933万円
健康づくりの第一歩として、疾病の早期発見・早期治療につなげることを目的に、各種検診事業を実施し、健康の保持増進、疾病予防、重症化予防に努めました。実施にあたっては、がん検診等の有用性を町広報誌やほけんだよりにて周知を図るとともに、夜間・休日健(検)診の実施など受診しやすい環境の整備に努め、受診率の増加に努めました。

感染症予防事業……………1,971万円
季節性インフルエンザについては、65歳以上の方に対して、ワクチン接種費用の一部助成を実施しました。高齢者肺炎球菌の予防接種については、平成26年10月の予防接種施行令の一部改正に伴い、法定接種となり接種対象年齢が限定され、該当者に対してワクチン接種費用の一部助成を実施しました。また、移行期間として、平成26年度末まで65歳以上で法定接種対象外の方への接種助成を実施しました。

特定健康診査等事業……………3,362万円
富谷町国民健康保険に加入している40歳から74歳までの方を対象に、生活習慣病に着目した特定健診(集団健診・個別健診)を実施しました。健診の結果、特定保健指導の対象となった加入者には、昨年に引き続き「健診結果相談会」を実施するなど、生活習慣の改善に向けた保健指導を積極的に行いました。

福祉部 長寿福祉課

臨時福祉給付金支給事業……………6,542万円
低所得者に対し、消費税率が引き上げられたことによる影響を緩和するため、申請による対象者一人に対し原則1万円を支給しました。

障害者自立支援給付事業……………3億2,137万円
第3期障がい福祉計画の最終年を迎え、計画理念「障がい者が住みなれた地域で安心して生涯を過ごせる町」を目指し、介護給付・訓練等給付などを適正に実施しました。

高齢者在宅支援事業……………1,953万円
高齢者が安心して在宅生活を過ごしていけるように、配食サービス、元気回復ショート、緊急通報システム等の事業を委託事業者である社会福祉協議会等と連携を図りながら実施しました。

ゆとりすとクラブ・サロン事業……………209万円
18か所のゆとりすとクラブサロンについて、それぞれの地域の特性に合わせた活動の支援を行い、高齢者の健康保持増進や地域住民同士のネットワークづくりの場となるよう努めました。

総務部 税務課

徴収事業……………3,365万円
納期内納税および自主納税を基本として、あらゆる機会を通じて納税意識の高揚を図り、収入未済額縮減に努めました。

福祉部 子育て支援課

子ども医療費助成事業……………2億3,920万円
中学3年生までの子どもを持つ保護者の負担軽減を図り、生活の安定と福祉の増進に努めました。

認可保育所運営事業……………4億5,555万円
認可保育園の円滑な執行を図り、児童福祉の増進に寄与しました。また、明石台わか葉保育園を増築し、平成26年10月からの定員を60名増の180名とし、待機児童の解消に努めました。



家庭的保育事業……………1,646万円
多様な保育ニーズへの対応や待機児童解消を目的とした家庭的保育事業(保育ママ)を3名により運営しました。

明石台小学校放課後児童クラブ新設事業……………1億480万円
明石台小学校新設に伴い、児童の安全確保の観点から小学校敷地内に児童クラブ専用スペースの整備を行いました。



保育所運営・維持管理事業……………1億4,912万円
園児の明るく健やかな成長を援助するため、適正な町立保育所の運営および施設の維持管理に努めました。

障害児通所支援事業……………9,146万円
障害児が適正に療育手帳を受給できるよう、運用に努めました。また、放課後等デイサービスの利用について、利用希望者の需要に応じた適切な給付支援に努めました。

妊婦支援事業……………4,098万円
健やかな妊娠期を過ごし、安心して出産が迎えられるよう妊婦健診の助成を行い、経済的支援に努めました。妊娠をきっかけに母体や家族の健康に関心を持てるよう、母子健康手帳交付時に食事や生活習慣について健康教育を取り入れました。

子育て支援事業……………1,849万円
乳児全戸家庭訪問事業(新生児訪問)や、養育支援家庭訪問事業、定期的な健診・教室を開催し子どもたちの心身の成長発達を確認し、保護者の育児不安解消に努めました。

建設部 都市計画課

一般公園維持管理事業……………1億6,748万円
安全な公園利用のため、遊具の修繕等を実施するとともに、町民の憩いの場であり、貴重なみどりを提供する公園や緑地において、除草や樹木の剪定等を実施しました。



教育部 学校教育課・学校給食センター

明石台小学校建設事業……………19億7,119万円
東向陽台小学校からの分離開設による明石台小学校校舎新築工事は、平成27年3月に竣工し4月の開校となりました。屋内運動場・プール新築工事については、建築資材調達の遅れ、作業員不足により工事に遅れが生じ、平成27年度へ繰越となりました。



小学校トイレ改修事業……………4,886万円
より良い教育環境を目指し、富谷小学校トイレの洋式化、床の乾式化など改修工事を行いました。

町立幼稚園運営・維持管理事業……………3,005万円
園児が安心・安全に幼稚園生活を過ごせるよう、施設の適切な維持管理に努めました。

教育部 生涯学習課

総合運動公園運営・維持管理事業……………2億7,308万円
富谷町スポーツ振興基本計画に掲げるスポーツ施設・環境の整備充実を目指し、平成25年度からの事業であるスポーツ交流館の新築工事のほか、富谷武道館太陽光発電設備等導入工事、スポーツセンター高圧受電設備改修工事、スポーツセンター舞台照明調光装置改修工事等を行いました。



西成田コミュニティセンター運営・維持管理事業……………1,266万円
自然散策エリアで自然体験活動ができる「西コミおっちゃんの森」の整備を「西コミ自然ふれあい学校」も活用し引き続き行いました。また、施設の修理や備品の更新を行い、利用者の利便性を高め、交流と学習の場として町民から親しまれる施設運営が実施できました。

町立小中学校運営・維持管理事業……………3億3,021万円
安全で快適な学習環境の確保を図るため、学校施設の適切な維持管理に努めました。また、特別支援教育支援員を、各小学校3名、中学校2名または1名の配置を継続し、支援を要する児童・生徒への適切な対応に努めました。

町立小中学校図書推進事業……………3,329万円
心豊かでたくましく生きる子どもの育成を図るため、読書活動の推進に努めました。また、小中学生を対象に、「富谷町図書館を使った調べる学習コンクール」を開催し、系統的な調べる学習の展開を図りました。

学校給食センター運営・維持管理事業……………4億4,806万円
アレルギー対応給食を含め、安全・安心な給食を提供しました。また、児童生徒および地域住民に対し、食育にかかる指導や情報の提供、見学会等を行いました。



公民館維持管理事業……………1億4,575万円
経年劣化による施設の修繕として、あけの平公民館大ホールステージ照明改修、東向陽台公民館大ホールエキスパンションジョイント改修等の工事を実施しました。また、避難所としての運営機能を確保するため、あけの平公民館と日吉台公民館で太陽光発電設備等設置工事を行いました。



協働教育推進事業……………288万円
中学校区5公民館ごとの学校支援地域本部により、学校教育支援と、家庭教育支援・地域活動支援に取り組み、地域と家庭、学校が協働して子どもを育てる事業を展開しました。支援ボランティアのスキルアップや地域団体を活用した事業等、多角的な視点で子どもたちの豊かな学びと地域の絆を深めることができました。

企画部 経営企画課

長期総合計画推進事業…………… 309万円
後期基本計画に基づき、市制移行を見据えた施策の推進と構造的な環境変化に対応できる弾力的な経営を推進しました。また、当該計画の着実な推進に向けて、各種施策や事業の管理・調整を実施しました。

5万人都市推進事業…………… 378万円
確実な市制移行とその先の自立したまちづくりに向け、市制移行推進会議を組織し庁内での協議や宮城県との情報交換を実施しました。また、特に市制に関する住民意向調査など具体的な準備作業も開始しました。

行政情報誌発行事業…………… 1,516万円
広報とみや発行による町民生活に必要な情報の適時提供に努めました。また、市制を見据え、町の歩みを整理することを目的として、これまで発行した広報とみやの電子化業務を実施しました。

企画部 あったかまちづくり推進課

十三夜魂のふるさとまつり運営事業…………… 981万円
「ふるさと富谷の歴史と絆をつむぐ町民5万人総参加のまつり」～輝く未来・2016市制移行～をコンセプトに、2016年の市制移行まで2年、「5万人都市とみや」の伸び行く姿を象徴とする活気と賑わいに溢れ、富谷町の魅力を町内外に発信する場として、第8回目の祭りを開催しました。



町民バス運営事業…………… 2,610万円
町民の利便性を高めるためのコミュニティバスとして運行しました。特に福祉的な機能が高まり、交通弱者といわれる町民を中心に有効な移動手段としても定着しています。



地域情報化推進事業…………… 197万円
町公式ホームページにおいて、市制に関するページを新設し、確実な市制移行のための情報発信を充実させました。また、今般の情報化社会に対応するため、即時性・双方向性を活かしたソーシャルメディアの効果的な運用を推進しました。

新年祝賀会…………… 240万円
平成27年「未年」の新春を寿ぎ、年頭にあたり町民のご多幸と富谷町の恒久発展を願うと同時に、市制を目指す5万人都市とみやの伸び行く姿を広く町内外にアピールする機会として開催しました。

成人祝い事業…………… 183万円
「おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いあげます」という成人の日の趣旨にのっとり、町を挙げて新成人を祝うとともに、これまでお世話になった方々に感謝し、成人としての自覚と責任を促す機会として開催しました。



企画部 産業振興課

企業誘致事業…………… 3,765万円
宮城県主催の企業立地セミナーなどを通して町の優れた立地条件や支援制度等を紹介し、積極的にPRを行ったほか、宮城県との連携による情報収集や誘致活動を実施しました。また、富谷町企業立地促進奨励金の交付については、企業立地奨励金は4企業へ、雇用促進奨励金は2企業へそれぞれ交付しました。

農業振興事務…………… 1,782万円
水田農業への支援として環境保全米対策事業及び農作物病害虫防除事業並びに認定農業者支援事業を実施しました。



ブルーベリー産地拡大事業…………… 165万円
町の特産品としてのブルーベリーを生産組合とともに、栽培拡大と消費拡大に努めました。また、専任アドバイザーにより栽培技術の向上と成木育成事業を実施しました。



生産調整推進事業…………… 635万円
富谷町地域水田農業推進協議会との連携による経営所得安定対策の推進を行いました。また、水田保全支援事業を実施して生産調整による農地の保全に努めました。

農業用施設維持管理事業…………… 3,269万円
農道および用水路等の農業用施設の適正な整備を行い、安全性の確保と作業の効率化を図りました。

総務部 町民生活課

住基ネット運用事業…………… 655万円
住基ネットワークシステムの適切な管理と運用に努めました。また、個人番号制度に向けた検討を進めるとともに、住基カードの発行を確実に実施しました。

狂犬病予防・飼主飼犬マナーアップ推進事業…………… 516万円
春と秋に町内各所で狂犬病予防集合注射を実施し、狂犬病予防の推進に努めました。また、犬のしつけ方教室を郡内4町村と獣医師会で共同開催し、飼主のマナーアップの啓発に努めました。

集団資源回収助成事業…………… 171万円
リサイクル意識の向上と資源の有効利用促進を目的に、集団で自主的に資源回収した団体に対し、その回収量に応じて奨励金を交付しました。

ごみ集積所整備事業…………… 253万円
衛生的かつ利便性の高いごみ集積所の整備促進を目的に、町内会の申請に基づき、整備費用の一部助成により地域ごみ集積所の不便・不快解消に寄与しました。

放射線量測定業務…………… 280万円
福島第一原発事故に伴う放射線量について、町内の31か所の定点観測を実施しました。また、測定結果を町ホームページ等で公表することにより、町民の安心・安全の確保を図りました。

総務部 総務課

町内会館整備・維持管理事業…………… 7,931万円
町内会の運営とコミュニティ活動の支援のため、町内会館の整備・修繕に努め、平成26年度は、富ヶ丘北部会館新築工事およびとちの木会館屋根の修繕工事等を実施しました。また、志戸田会館新築に向けての準備に着手しました。



マイナンバー制度対応事業…………… 1,662万円
平成27年度から運用が開始されるマイナンバー制度に対応するためのシステム改修等を実施しました。

災害対策総務事務…………… 783万円
国の法律改正や宮城県の地域防災計画との整合性、本町の震災時における取り組みや教訓を反映させるため、富谷町地域防災計画を改定しました。また、町内会や自主防災組織による地域防災活動の支援に向けた補助金を交付しました。

防災用備蓄物品等整備事業…………… 924万円
太子堂地区と上桜木地区へ防災用備蓄倉庫を整備しました。また、避難所内で使用できるプライベートルームや石油ストーブ、バルーン投光器等を整備しました。

建設部 都市整備課

道路改良・歩道整備事業…………… 2億4,934万円
歩行空間の安全と快適性を確保するため、歩道未整備区間における歩道整備と既設歩道のバリアフリー化を実施しました。また、新たに工業系で市街化区域に編入された高屋敷地区において、企業立地の促進を図るため、道路改良を実施しました。



側溝整備事業…………… 8,443万円
歩行者の安全と車輦通行の円滑化を確保するため、道路の有効幅員を広げる側溝の有蓋化を実施しました。

建設部 上下水道課

合併処理浄化槽設置事業…………… 733万円
公共下水道処理区域外で、合併処理浄化槽を設置する場合、設置費用の一部助成による普及促進を図ったほか、適正に管理している世帯を対象に維持管理補助金を交付しました。

下水道幹線管渠改築事業…………… 4,644万円
長寿命化計画に基づき、経年劣化した富谷1号汚水幹線管渠の改築工事を実施し、機能保持と延命化を図りました。

防災用情報通信設備等整備事業…………… 165万円
災害時の情報伝達体制を強化するため、明石台小学校および明石台第七会館へMCA防災行政無線を整備しました。



消防ポンプ整備事業…………… 350万円
災害発生時に迅速で円滑な消防団活動ができるように、第一分団町中へ小型動力消防ポンプ軽積載車を配備しました。

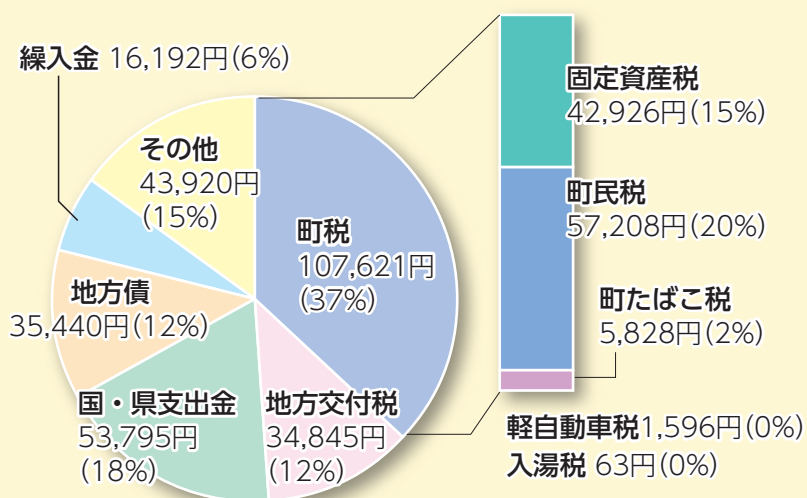
企画部 財政課

公有財産維持管理事業…………… 1億93万円
本庁舎については、庁舎管理業務を委託している業者との連絡調整を密にし、定期点検等を確実に実施しました。また、町有未利用財産の適切な維持管理に努めました。



税金の負担額および使用額

一人あたりの負担額…10万7,621円
一人あたりの歳入額…29万1,813円

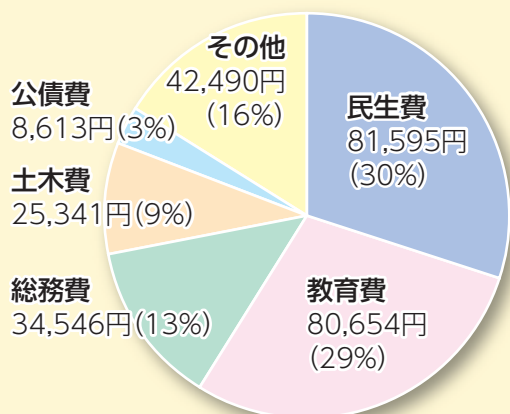


町民一人あたりの負担額は？

平成26年度の税収を一人あたりに直してみると、町民税や軽自動車税の増収により、19円増の10万7,621円となりました。

それに対して一人あたりの歳出は27万3,239円となっています。その差額部分を、地方交付税・国県支出金などの国や県から交付されるお金や、家庭で言えばローンにあたる町債を借入れしたり、貯金にあたる基金を取り崩して補っています。

一人あたりに使われたお金…27万3,239円



町民一人に、どれくらいのお金が使われたの？

一人あたりに使われたお金を目的別に見てみると、土木費では仏所太子堂中線歩道新設工事の終了等により3,820円減、そのほかに区分されている災害復旧費は、大きな災害がなかったことにより1,256円減となりましたが、民生費では認可保育所増築や介護施設整備、明石台小学校児童クラブ整備や臨時福祉給付金支給事業等により1万156円増、教育費では明石台小学校新設事業やスポーツ交流館新築事業などにより3万204円増となり、全体として一人あたりに使われたお金は前年度に比べて3万2,866円上回る27万3,239円となりました。

健全な財政運営に努めています

●健全化判断比率・資金不足比率

富谷町は、早期健全化基準を大きく下回り、昨年度に引き続き健全な財政運営を行っています。

○健全化判断比率 一つでも早期健全化基準を超えた場合、財政健全化計画の作成が義務付けられるなど、自主的な改善努力による財政健全化が求められます。

区分	富谷町	早期健全化基準	内容
実質赤字比率	—	13.66	一般会計の実質赤字額の標準財政規模に対する比率
連結実質赤字比率	—	18.66	すべての会計の実質赤字額の標準財政規模に対する比率
実質公債費比率	-2.4	25.00	公債費・公債費に準じた経費の標準財政規模に対する比率
将来負担比率	—	350.00	地方債の残高のほか、将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

○資金不足比率

富谷町の公営企業会計（水道事業、下水道事業）は、資金不足比率が算定されませんでした。

健全化判断比率と資金不足比率は、自治体の財政健全化度を判断する新たな指標です。基準を超えた場合は、一般会計のほか特別会計や公営企業会計なども含めた財政健全化への取り組みが必要となります。